
Rosen Maiden -Das letzte Kapitel-

kohaku

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

Rosen Maiden - Das letzte Kapitel

【Nコード】

N1347Q

【作者名】

kohaku

【あらすじ】

原作ローゼンメイデン後、数千年が経過した後の御嘶。人間は絶滅した後、取り残された幾千のドール達は、星の上の世界に御父様の姿を願う。

エピソード

Cautions.

此処から先は、小生の妄想に彩られたローゼンメイデンの名を借りた拙い伝倚物語である。

廚二病を拗らせた結果、今回の二次創作を書く事に到った。故にこの物語から廚二病成分が解離する事は決して無い。

そして、原作とはかけはなれたキャラクター及び設定が多く見受けられます。そのような表現を嫌う方は、この時点でお使いのブラウザの戻るボタンを、開いたことを後悔しながら丁寧に押すことをお勧めします。

それでは、これよりRosen Maiden - Das letzte Kapitel - (独語で“終幕”)の幕開けでございます。

皆様、処女作故に至らない点が御座いますが、何卒御容赦下さい。

胎動

静寂が支配する廃墟の町に、突如として幾つかの爆発音が鳴り響いた。

警鐘の如く町を駆け巡ったその音を引き起こした本人である少女は、しかしそんな事など少しも気に留めること無く、目の前に居る右肩から先を失なった少女に対し狂気を感じさせる微笑と共に問いかけた。ある程度形式は気にした結果なのだろう。

『あまり興味はないのですけれど、貴女の名前はなんですか？』

片手を失なった少女『私は……第18604ドール………』

そう答えかけたところで、問いかけた本人は既に興味を完全に失なったのか、或は本当は最初から無かったのか定かではないが、片手を失なった少女の声を遮り冷酷な詞を謳うように紡いだ。

『さあ、貴女のローザミステイ力を渡すです。』

胎動2

『 喝采を。貴女の喜劇はこれにて幕を閉じます。私はロゼンメイデン第3ドール 翠星石……！』

右肩から先を失なった少女は顔に驚愕の色を滲ませた。

それも当然の話だ。第3ドールどころか、彼女は第10000番以下のドールですら実際に挿んだことがないのだ。

もし、その話が嘘偽りのない本当の事であるならば、何百年、何千年とこのアリス・ゲームという名の”戦争”を潜り抜けてきたことになる。

本能が此処から逃げると叫びをあげる。

逃げる。

逃げる。

逃げる。ニゲロ。

ニゲロニゲ

それは暗に”翠星石”の言い分を肯定しているのだろう。

ロニゲロニゲロニゲロニゲロニゲロニゲロニゲロニゲ

ロニゲロニゲロニゲロニゲロニゲロニゲロニゲロニゲロニゲ

ロニゲロ

本能の慟哭は更に激しさを増して……。

ニゲロニゲロニゲロニゲロニゲロニゲロニゲロニゲロニゲロニゲ

ニゲロニゲロニゲロニゲロニゲロニゲロニゲロニゲロニゲロニゲ

ニゲロニゲロニゲロニゲロニゲロニゲロニゲロニゲロニゲロニゲ

ニゲロニゲロニゲロニゲロニゲロニゲロニゲロニゲロニゲロニゲ…

…。

彼女は一刻も早く逃亡しようとする。

……しかし、もう脚は最期まで動かない。いつの間にか脚を絡め取っていた蘿が彼女の脚を完全に固定していたのだ。

翠星石『では、貴女のローザミステイカを頂戴するです。』

そう言うと、翠星石は何処からか1つの大きな鍬を取りだし、少女の細い頸を躊躇のない一振りで切り落とした。

後にはただ、啾々たる哭声が僅かに聴こえるばかりとなった。

世界

生き物は、自然状態に於いて、自身の欠点を埋めるために互いに他と群れる。

ドールたちに於いてもそれは例外ではなく、効率的に”狩り”をする為に幾つかのギルドに分断していた。

ギルドの内部における最高権威であるクイーンの称号を持つドールは、意外にも、殆ど全てのギルドに於いてギルド内部で民主的な手法を用いて決定される。

そして最も力を持ったギルドのクイーンこそが、最もアリスに相応しいドールとなるのだ。

だが、その常識を根本から崩す存在がこの世界に君臨した。

憧憬に抱いた理想の楽園を目指し、翠星石は独り戦場を享楽する。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1347q/>

Rosen Maiden -Das letzte Kapitel-

2011年1月16日07時13分発行